

平成 21 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
 コード 番 号 3088 東証第 1 部
 代 表 者 名 代表取締役社長兼 COO 吉田 雅司
 問 合 せ 先 執行役員 財務経理部長 小松 栄二
 TEL 047-344-5110

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 14 日の前期決算発表時に公表した平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

【連結】

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	198, 000	7, 300	8, 100	3, 600	75 円 50 銭
今回修正予想 (B)	197, 637	8, 024	9, 024	4, 822	101 円 14 銭
増 減 額 (B-A)	△362	+724	+924	+1, 222	—
増 減 率 (%)	△0. 2%	+9. 9%	+11. 4%	+34. 0%	—

【修正理由】

当第 2 四半期累計期間においては、雇用情勢やそれらに伴う賃金環境の悪化など、先行きの不透明感から依然として個人消費は低迷し、生活防衛意識や節約志向の高まりを受け、業種／業態を超えた価格競争が激しさを増すなかで、改正薬事法による販売手法の変更などもあり既存店売上高は厳しい推移となりましたが、顧客ニーズに合った商品の展開、カウンセリング体制の強化、PB商品及びインフルエンザ関連商品の拡充等により売上総利益の確保に努めるとともに、効率かつ効果的な販促施策の実行により広告宣伝費の削減、ポイント関連費用のコントロールなど販売費及び一般管理費の削減に努めてきました。

これら各種の施策とともに、これまでの改善が着実に成果を上げ、営業／経常利益段階で予想を上回る利益を確保し、当初計画しておりました特別損失等が想定を大きく下回るものと見込まれるため業績予想数値の修正を行うものです。

なお、通期の業績予想数値は、今後の経営環境の不透明性を鑑み、前回発表からの変更はありません。

以上